



# 南丹市に記録的な大雪



美山町知井地内の大雪



倒壊したビニールハウス

昨年未から、猛烈な寒波と豪雪が日本列島各地に大きな被害をもたらしました。南丹市においても、近年になり厳しい冬となりました。特に南丹市美山地域においては、年明けの一月六日には、知見地区において一日で百二十詢の降雪量を記録しました。家の屋根が壊れたり、ビニールハウスが倒壊したりと多くの被害が報告されています。歩道や屋根に積もった雪の

除雪をされていた方は、「もう雪の無いところで暮らしたい」と、続く雪との戦いにため息をもらし、心労が絶えないようでした。建物周辺を歩かれる際には屋根の雪が突然落ちてくることもあります。また、気温が上がってくると、山や斜面に降り積もった雪が「なだれ」を起こす危険がありますので、注意が必要です。



除雪作業が続きます

京都府埋蔵文化財調査研究センターが発掘調査を進めている、八木町野条の野条遺跡で、平安時代後期（十二世紀前半）の掘り立て柱建物跡六棟と有力者の居住跡を囲んだとみられる溝などを確認したことを発表し、一月二十五日現地説明会が行われました。計画的に建てられた建物跡などから「当時の開発の様子を知る貴重な手がかりになる」との同センターの話に集まった多くの考古学ファンは熱心に耳を傾けていました。

## 野条遺跡に平安後期の建物跡



熱心に聞き入る考古学ファン